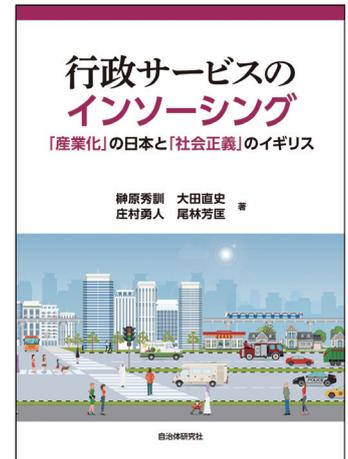


行政(公共)サービスはどうあるべきか

行政サービスの インソーシング

「産業化」の日本と 「社会正義」のイギリス



榊原秀訓・大田直史・庄村勇人・尾林芳匡 著

A5判・並製カバー・136頁/定価(本体1600円+税)

行政(公共)サービスはどうあるべきなのか。日本では公的サービスのアウトソーシング、民営化、産業化が唯一の選択肢とされている。一方、イギリスでは、再公営化、つまり、民間から公営に取り戻す、インソーシングの事例がみられる。それは民営化、産業化による弊害、サービスの破綻・劣化が原因であり、公正を旨とする「社会正義」に根差した動きでもある。イギリスでの調査を初め、現地の労働組合・市民団体等の社会運動を紹介し、日英比較を通して、これからの行政サービスのあり方を多角的に考える。

目次より

第1章 わが国の行政サービスの民間化の現状 ●榊原秀訓 1 政府における行政サービス民間化の政策/2 公務員制度の現状/3 行政サービスのアウトソーシングの手法 **第2章 行政サービスのインソーシングと「社会的価値」・「社会正義」への注目** ●榊原秀訓 1 行政サービスのアウトソーシング/2 行政サービスのインソーシング/3 Brexitと行政サービス **第3章 イギリス流「社会」依存の行政サービス提供とインソーシング** ●大田直史 1 10年間に及んだ緊縮財政/2 繰り返されてきた中央集権批判と地方主義/3 「地方主義」による「大きな社会」の失敗/4 「市民社会戦略」 **第4章 PFI事業の「検証」と「撤退」** ●庄村勇人 1 イギリスにおけるPFI/2 会計検査院報告書、庶民院報告書/3 イギリスにおける議論を踏まえた検討 **第5章 イギリスのインソーシングと社会運動** ●尾林芳匡 1 労働組合の動き(その1)=UNISON/2 労働組合の動き(その2)=UNITE the UNION/3 トランスナショナル研究所(Transnational Institute)/4 「WE OWN IT」(私たちこそ所有者だ)運動

お問合せ・申込み先

自治体研究社 〒162-8512 新宿区矢来町123 矢来ビル4F TEL:03-3235-5941/FAX:03-3235-5933
http://www.jichiken.jp/ E-Mail info@jichiken.jp

申込み書	ふりがな		書名	冊数
	お名前		行政サービスのインソーシング —「産業化」の日本と 「社会正義」のイギリス	
	お届け先	〒		
	TEL		榊原秀訓・大田直史・庄村勇人・尾林芳匡 著 A5判 定価(本体1600円+税)	冊

■送料一律650円